

県南の現状

若年層の流出や高齢化の進行による地域担い手の減少。特に、全域が過疎・中山間地域である東白川郡が顕著。

- 人口減少率 H22 → R5 : (県南地方全体) Δ10.5% (東白川郡) Δ19.9%
- 高齢化率 H22 → R5 : (県南地方全体) 32.4% (223.8%) (東白川郡) 38.4% (228.9%)
- 観光客入込客数 R4 - R元: (県南地方全体) Δ732千人 (東白川郡) Δ230千人

- 東白川郡における観光客入込客数 1,117千人 ※R元(1117千人)×1.0
- 県南地域への定住・二地域居住者数 190世帯 ※H22(7世帯)×27.1  
(県南地域移住者数H22:7世帯 ⇒ R4:181世帯 約25.8倍)

令和6年度事業の展開 ~持続可能な里山社会の実現~ 予算総額 493,057千円

令和5年度取組・成果

【人と地域】 地域資源を活用した交流人口拡大

1 ひがししらかわ魅力発信事業

- 東白川郡の魅力的な施設や産品、飲食店などの地域資源について、県内外へ情報発信し、交流人口を拡大 (R5テーマ: キャンプ場、動画再生回数2.2万回)
- 水郡線の活性化のため、同線の持つのどかな田園風景や美しい景色を発見・発信するInstagramのフォトコンテストを開催 (応募総数427点)



キャンプ場PR動画

2 「しらかわスタイル」マイクロツーリズム推進事業

- 新たな観光資源として注目される「狛犬」に焦点を当て、しらかわ地域の狛犬の特徴等について紹介する動画や、狛犬の焼き印入りオリジナル割り箸を制作



狛犬オリジナル割り箸

3 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業

- 県土連携軸の国道289号等について、江竜田工区等の事業化を推進
- 埴町上石井地区久慈川環境整備による交流人口の拡大

4 しらかわ地域農林業資源活用事業

- 首都圏の消費者や学校による農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修、農業体験メニュー表の作成
- 6次化商品のPR活動や、各事業者向けの研修を実施 (26事業者参加)



6次化商品の販売会

5 しらかわ地域づくり活動促進事業

- サポート事業や地域おこし協力隊等の成果共有を行う元気づくり交流会を開催

課題

○ 新たな視点による地域資源の発掘や、地域との連携による交流人口の拡大

【Uターン】 定住・二地域居住の推進

6 首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業

- 「しらかわ地域に特化した転職サイト」を開設し、県南の企業の魅力や求人情報を首都圏等に発信するとともに、求職者と企業とのマッチング支援を行う運営事務局を整備
- 採用企業向けのコンサルティングや各種セミナーの実施



転職サイト

7 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業

- 県南地方定住・二地域居住相談所「ラクラスしらかわ」移住相談件数 (150件、2月末時点)
- 県南地方への移住実績 (186世帯、12月末時点)
- 首都圏やオンラインでのセミナー開催 (2回)

○ 移住に係る多様なニーズへの対応

【Uターン】 次代を担う若者の定着・還流

8 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

- 農業や地域産業、伝統文化等の体験活動を実施 (8小学校・約860名)



稲作体験

9 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成事業

- 小学生のうちから東白川郡の医療の実情を知り、関心を高めてもらうため、医療や介護の現場での体験を交えた親子学習会を、感染症対策を講じて開催 (8月17日: 東白川郡小学生親子7組15名参加)
- 地域医療の担い手育成のため、県立医大とタイアップした医学生の体験型実習と医療の現場視察や地域住民との交流などの地域医療体験研修を開催 (9月27日~29日: 福島県立医科大学医学部3年生20名参加)



親子学習会

10 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業

- 小学生を対象とした建設現場見学会を実施 (鮎川、埴、笹原、矢祭小 計123名)
- 小中学生を対象とした防災出前講座を実施 (埴小 計51名)

○ 地域ニーズに合った人材の確保  
○ 地域づくりや産業振興を担う地域の担い手の育成

【人と地域】 地域資源を活用した交流人口拡大

1 ひがししらかわ魅力発信事業 (継続) ★ 1,853千円

- 東白川郡に眠る地域資源を斬新な視点で切り出し、県内外へ情報発信し誘客促進
- 首都圏等に向けての観光PR及び産品の販路拡大

2 しらかわ “ならでは” ツーリズム推進事業 (新規) 9,450千円

- 人手不足で困っている事業者と、地方に興味のある方々をWeb上でマッチングさせる既存の「お手伝い+旅」のプラットフォームを活用し、交流人口拡大と人材確保の両立を図る
- 観光シンクタンクと連携し、しらかわ地域における観光の客観的な事実の把握・分析を行い、観光振興の方向性を定め、関係者と共有及びブラッシュアップしながら長期的に取り組むことで、消費者目線に立った「しらかわ “ならでは”」の観光を提供する

3 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業 (継続) 461,500千円

- 県土連携軸の国道289号等について、江竜田工区等の事業化を推進し、地域間交流を促進
- 埴町上石井地区久慈川環境整備による交流人口の拡大

4 しらかわ地域農林業資源活用事業 (継続) ★ 987千円

- 首都圏からの農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修、情報発信強化
- 農業体験の希望者と受入側のマッチングを可能とするポータルサイトを開設
- 地域の特産品を活用した6次化商品のPR活動や、各事業者向けの研修を実施

5 しらかわ地域づくり活動促進事業 (継続) ★ 34千円

- サポート事業や関連事業等の効果的な事業執行を図るため成果共有を行う交流会を開催

【Uターン】 定住・二地域居住の推進

6 首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業 (継続) 10,000千円

- 「しらかわ地域に特化した転職サイト」を運営し、県南の企業の魅力や求人情報を首都圏等に発信するとともに、求職者と企業とのマッチング支援を行う運営事務局を設置
- 採用企業向けのコンサルティングや各種セミナーの実施
- 首都圏へのアクセスの良さを維持しながら移住先の候補を探す層が多いことから、移住希望者に特化した情報発信 (移住者向け媒体の活用等) を行い、「転職・仕事」を切り口とした移住世帯の増加につなげる

7 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業 (継続) 4,600千円

- しらかわ地域の一元的な移住相談窓口の設置、公式HPやLINEによる細やかな情報発信
- 首都圏等での相談会・セミナーの実施、既移住者の定着支援

【Uターン】 次代を担う若者の定着・還流

8 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業 (継続) ★ 1,721千円

- 子どもたちが生まれ育った地域のよさを知り、郷土を愛する心を持って、地域の将来を支える担い手となるよう、農業や地域行事、伝統文化等の体験活動、地域貢献活動及び交流活動を実施

9 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成支援事業 (継続)

- 2,312千円(うち★805千円)
- 小学生のうちから東白川郡の医療の実情を知り、関心を高めてもらうため、医療や介護の現場での体験を交えた親子学習会を開催
- 地域医療の担い手育成のため、県立医大とタイアップし、医学生の体験型実習として地域医療の現場視察や地域住民との交流などを学ぶ地域医療体験研修を開催

10 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業 (継続) ★ 600千円

- 地域の子どもたちに建設業に対する興味や関心を高めるとともに、将来の建設業を担う人材を育成するため、小中学生を対象とした建設現場見学会・防災出前講座を開催
- 建設現場見学会は、建設業の魅力や重要性に加え、ICT測量やICT建設重機等の新技術も学べる場とする

※ ★印は県単各事業 (過疎・中山間地域振興事業) の予算を使用するもの (計6,000千円)